

めらっている現状がある。乳幼児医療費無料化の拡充が強く求められているが。

答 市としても支援策と認めています。本市の厳しい財政を考えると現状は難しい。

空き教室を児童館として利用できるか

問 田村 児童館は安全を考えると、学校敷地内が望ましい。空き教室の利用はできないか。市役所隣接地が駐車場になる。第二駐車場の一部を中央児童館の庭として利用できるか。

答 空き教室は一つです。庭は検討したい。

市営プール開設の今後は

問 福村 市営プール開設に向けて、今後どのように進めるのか。

答 プールについては、大変要望の多い施設です。九月から、再開するかを含めて規模と位置などを検討してまいります。

大井西中の環境整備を

問 前原 大井西中学校の



大井西中の体育祭

老朽化が激しい。学習環境を整えるためにも、必要な手立てを行なうべき。

マナー教育で生きる力を

問 堀口 早いうちから金

銭管理能力を身につけ、年金や税のことなど社会生活の基礎知識や働く意欲を養うため、マナー教育の必要性をどう認識しているか。

答 学校における金銭教育は、小中学校を通して、多様な体験的学習を中心に進められています。健全な金銭感覚を身につけ、生きる力を養うことは重要な教育です。



福祉

基本健診どう変わる

問 鈴木 基本健診が来年度からメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した特定健診に変わりますが、健診内容と費用負担はどうなるのか。

答 腹囲測定など、メタボリックシンドロームの改善と予防に向けた健診内容です。費用などについては、今までと同じ程度の負担をさせていただく方向で検討しています。

ユニバーサルデザインのまちづくりを

問 山口 障がいのある方もない方も、高齢者も青年も外国人も、すべての人の人権が尊重され生活できるユニバーサルデザインを、まちづくりの指針にすべきではないか。

答 市民参画の仕組み、情報の共有、バリアフリー施策の推進、円滑に利用できる公共交通の実現などを、総合振興計画の基本的な考えに取り入

れて進めます。

駅バリアフリー化は市民の声を反映せよ

問 小川 上福岡駅のバリアフリー化、エレベーター設置等について、何よりも利用者の声を反映させるべきではないか。

答 市だけでなく、東武鉄道にも要望の声は寄せられています。必要に応じ、他の調査からも検討していきたい。

太陽の家への送迎循環バスを

問 新井 大井地域の高齢者・障がい者など多くの市民が、「太陽の家」を気軽に利用できるように、送迎の循環バスを運行できないか。

答 バス会社からは、「平成十九年度に路線の見直しを行なう」と聞いています。その結果を確認して、二十年度に循環バスの見直しを行ないたい。新たな施策展開となるので、効率的な導入を図りたい。

介護サービスは減らすな

問 岩崎 昨年四月からの

養成確保にも努力していきま

合併特例債での焼却処理施設建設は

問 高畑 本市には「広域ごみ処理施設建設準備室」が設置されているが、新しく焼却処理施設を建設した場合、「合併特例債」を利用しての建設はできるのか。

答 合併特例債の利用は可能です。特例債の活用とともに、国の循環型社会形成推進交付金を取り入れた施設建設を目指していきたいと思えます。

問 循環型社会形成推進交付金の対象事業とは。

答 今までのように、単に、ごみを焼却する施設では対象とならず、循環型社会を形成するための「マテリアルサイクル」の可能な施設や「エネルギー回収」の可能な施設が対象となります。

【訂正とお詫び】

前号六ページの記事中、下段の見出しにつきまして「水道事業給付条例の一部改正」とあるところを、「水道事業給水条例の一部改正」と訂正し、お詫びいたします。

介護保険法の改正で、介護認定が軽度の人は認定の見直しで要支援に移ったため、全国で訪問介護の時間が減らされたりしている。市ではどうか。

答 見直して、要支援の人は一四七人です。この中で、要介護一からは四十一人、二からは五人移りました。介護サービスは行なっています。

問 介護保険料が大幅値上げしたために、特に低所得者の滞納率が高い。保険料は、六段階の年間所得二〇〇万円以上は同一の額になっているので、所得に応じた区分を増やすべきではないか。

答 保険料は、平成二十一年

の見直しとき、区分を増やすことも検討したい。

身寄りのない方の納骨の現況と今後は

問 高橋 身寄りのない方の納骨に関して、市の現況は、



学校給食の牛乳は紙パックより瓶に

問 小川 上福岡地区の学校給食の空牛乳パックを、清掃センターで職員が開いて洗っているのはコスト高。環境教育としてもよくないのではないか。

答 今は、場内業者に依頼しています。大井地区と同じ瓶牛乳に変更するには、瓶の確保及び費用面で難しい状況です。

小中学校の暑さ対策の改善を

問 岸川 小中学校の暑さ対策について改善が必要だが、

答 熱中症事故防止について、具体策を示して予防対策を通知しました。さらに対策は検討しています。引き続き今後の整備課題として取り組めます。

ヒートアイランド対策の取り組みは

問 高橋 ヒートアイランド対策の市の取り組みと、今後の対応については、

答 庁舎の冷房を二十八度に

大杉神社の大イチョウの保全を

問 野沢 下福岡の大杉神社の大イチョウは、ふじみ野市最大級の樹木で、市のシンボルでもあるが、土堤の拡幅のため伐採されるという。保全をしてほしい。

答 土堤工事のため伐採の予定ですが、県と処置を相談したい。

安心できるウォーキングの環境づくりを

問 塚越 安心、快適なウォーキングができる環境をつくるため、道路・公園・体育・健康・障がい福祉など広範な行政分野が連携を図るべき。

答 今後は共通した認識をもって連携を図りながら、取り組んでいきます。指導者の